

デジタル複合機の複写サービスにおける仕様書

デジタル複合機の複写サービスに関する仕様は、次のとおりとする。

1 設置場所

- (1) 競馬組合事務所【浦和競馬場内競馬会館 1 階】
- (2) 記者室【浦和競馬場内 2 号スタンド 4 階】
- (3) 投票センター【浦和競馬場内 3 号スタンド 5 階】
- (4) 電算室【浦和競馬場内業務館 2 階】
※住所：さいたま市南区大谷場 1-8-42（上記（1）～（4））
- (5) 野田管理事務所【野田トレーニングセンター内】
※住所：さいたま市緑区上野田 696

2 機器台数と仕様

- (1) 競馬組合事務所・・・カラー複合機 1 台 80 枚機以上
"・・・モノクロ複合機 1 台（ファックス機能付）25 枚機以上
- (2) 記者室・・・モノクロ複合機 1 台 25 枚機以上
- (3) 投票センター・・・カラー複合機 1 台 35 枚機以上
- (4) 電算室・・・カラー複合機 1 台（ファックス機能付）35 枚機以上
- (5) 野田管理事務所・・・カラー複合機 1 台（ファックス機能付）25 枚機以上

※その他の仕様および機能詳細は、4 に記載の通りとする。

3 使用実績（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月までの実績）

(1) 競馬組合事務所（カラー複合機）	モノクロ	月平均	15,000 枚※
	カラー	月平均	6,000 枚※
"（モノクロ複合機）	モノクロ	月平均	900 枚※
(2) 記者室（モノクロ複合機）	モノクロ	月平均	2,111 枚
(3) 投票センター（カラー複合機）	モノクロ	月平均	3,546 枚
	カラー	月平均	1,099 枚
(4) 電算室（カラー複合機）	モノクロ	月平均	7,075 枚
	カラー	月平均	1,458 枚
(5) 野田管理事務所（カラー複合機）	モノクロ	月平均	4,444 枚
	カラー	月平均	1,213 枚

※組合事務所の複合機の使用枚数については組合事務所での勤務人員が減少したため、今後の見込み枚数とする。

4 機器の機能

(1) デジタル複合機の機能

	連続 コピー スピード (分) モノクロ・ カラー 共に	ファース トコピ ー タイム (モノク ロ A4 ヨコ)	ウォーム アップ タイム	対応 用紙 サイズ・ 給紙ト レイ段 数	自動両面 印刷可・ 自動原稿 送り・ 手差し 給紙	ソート 機能	オートス テ ー プ ル 機 能 ・ パ ン チ (2 穴) 機能	フルカラー プリンタ 機能	フルカラー スキャナ 機能	エコマーク エネルギー スター グリーン 購入
(1) カラー 複合機	80 枚 以上	4.3 秒 以内	36 秒以 内	A3・ 4 段	装備	装備	装備	装備	装備	適合
(1) モノクロ 複合機	25 枚 以上	4.5 秒 以内	30 秒以 内	A3・ 4 段	装備	装備	無	無	無	適合
(2) モノクロ 複合機	25 枚 以上	4.5 秒 以内	30 秒以 内	A3・ 4 段	装備	装備	無	無	無	適合
(3) カラー 複合機	35 枚 以上	5 秒 以内	30 秒以 内	A3・ 4 段	装備	装備	無	装備	装備	適合
(4) カラー 複合機	35 枚 以上	5 秒 以内	30 秒以 内	A3・ 4 段	装備	装備	無	装備	装備	適合
(5) カラー 複合機	25 枚 以上	6.4 秒 以内	30 秒以 内	A3・ 4 段	装備	装備	無	装備	装備	適合

※上記は最低限の機能であり、全て満たしていること。また、納入する機器のメーカーは同一とすること。

※複合機の各機能の利用に必要なソフトウェア（ドライバ等）が存在する場合、無償で提供するものとする。

※プリンタドライバ、スキャナドライバは設置課所のパソコンにインストールする。全職員のパソコンを対象とするが、場合によってはインストール用ファイルまたはマニュアルにより職員が行う。

※プリンタ機能、スキャナ機能を設置した場合、パソコンとの接続は LAN を利用して接続し、ネットワークプリンタ（スキャナ）として使用が可能なこと。

※コピーと受信した FAX の出力口は別々とする。

(2) ファックス機能およびスキャナ機能

- ア. 送信原稿サイズがA3まで対応していること。
- イ. 送信モードがG3規格に対応していること。
- ウ. 登録済みファックス番号およびスキャナ保存宛先を移行すること。
(または Excel に保存後転送でも可)
- エ. スキャンしたファイルを複合機側の操作で Microsoft Excel、Word 形式に変換できること。

5 その他

- (1) 故障等の緊急時には、正常に使用できるように迅速に対応すること。
- (2) トナー等の消耗品の配送について迅速に対応すること。
- (3) 保守料金のうちには、保守点検(定期)、消耗品(ドラムカートリッジ・トナーカートリッジ等)の補充、故障時の修繕、部品交換等の経費を含むものとする。
- (4) 各サイズ相互の固定倍率で拡大・縮小複写ができ、原稿に対し、目安として25%~400%程度の複写倍率を設定できること。
- (5) 原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択及び給紙して複写ができること。
- (6) メーターカウンターの自動確認、及び消耗品・故障等の自動通知ができること。
- (7) 契約期間は、令和4年10月1日から令和9年9月30日までとする。
但し、翌年度以降において歳入歳出予算の当該契約の金額について減額又は削減があった場合、当該契約は解除する場合がある。
- (8) 使用賃借、保守サービス及び機器消耗品の代金は、1枚単価の印刷代として使用枚数分を支払う。
- (9) 設置する複合機は新品に限る。
- (10) 令和4年9月中に設置・設定を完了し、10月から利用可能な状態にすること。